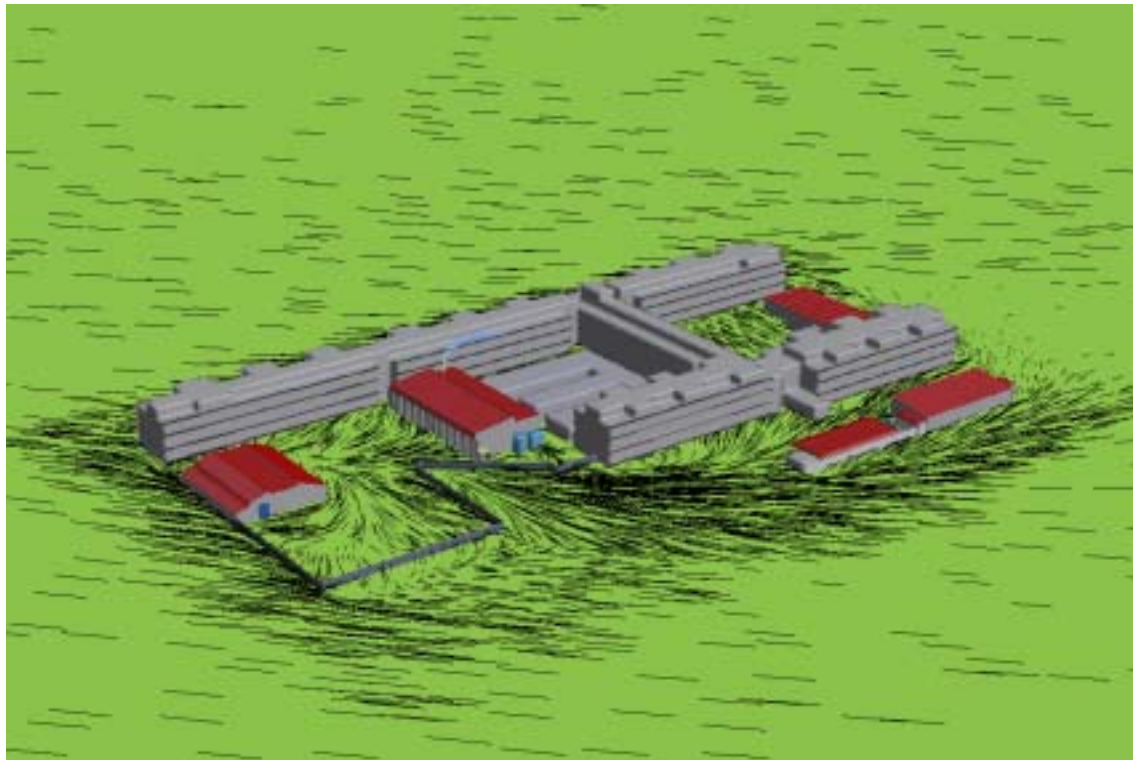


ICI 研究所，気体放出の影響をシミュレーション

イギリス，ランコーンにある ICI 研究所は，イングランド北西部の広大な田園地方に位置する複合研究施設です．研究所の経営陣にとっての問題は，建物中央に置かれた一般用排気塔が，付近の建物側面にある HVAC 用取入口から入る空気の高純度に悪影響を及ぼすかどうか，ということでした．

様々な角度で研究所施設に近づく風の分布と風速をモデリングするため，CFD コードの FLUENT とプリプロセッサの GAMBIT が使われ，排気口からの煙の軌跡がプロットされました．世界中の化学

プラントや研究所では，このように人体に対する毒性の影響調査が，ますます一般的になってきています．プラント間の関係で環境へどのように分散するか，また，近隣の建物や地形とどのように相互作用するか，などの問題が，CFD を使うことによって迅速かつ低コストで評価できるのです．



地表近くのベクトルと予測された気体放出のようす